

## 過去2年間の進路概要

年度	大学	短大	専門学校	公務員	民間企業	その他
令和2	232	23	49	5	3	7
令和3	208	27	52	4	5	6

一般選抜では受験生に追い風が吹いているといわれます。

数字には表れませんが、3月入試や補欠の繰り上げ合格など、最後まであきらめない人が報われる受験環境になっています。

## 専門学校希望のみなさんへ

専門学校は職業技能を身につけ、社会の即戦力を育成する魅力ある上級学校です。ただ、学校選びに最も注意が必要な校種でもあるのです。

⇒ 専門学校のほうから早々に入学確約を迫るケースには、要注意。

「早くしないと、定員が埋まってしまう。」

「今エントリーすると、合格を確約できる。」

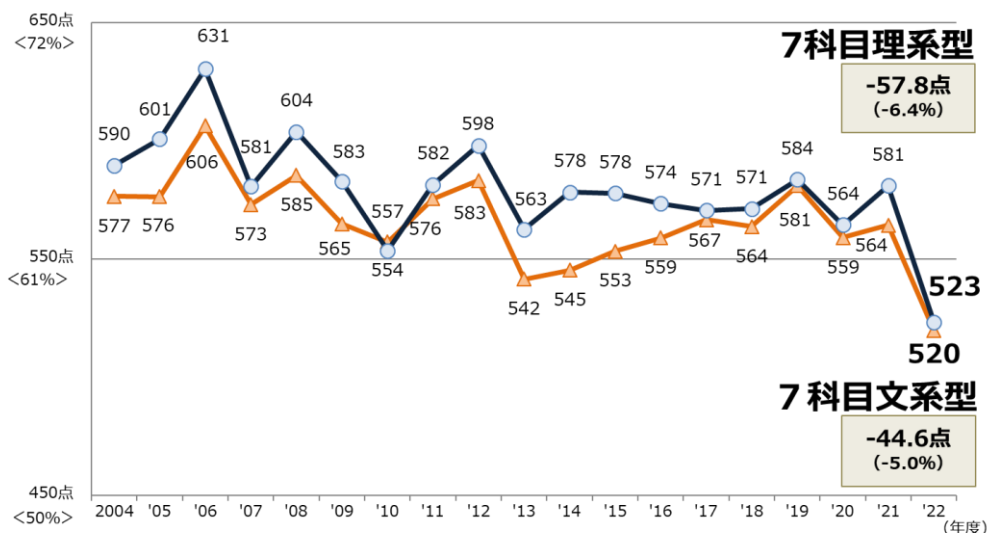
「今エントリーすると入学金や授業料の減免措置がある。」

個別相談などで、こうしたフレーズがでたら「あれ？」と思ってください（今年度は特に多い）。そもそも出願は2学期です。よく先生と相談して、進学先を決めましょう。

## R4 共通テスト ~どんな試験なのでしょう~

### 【 共通テストの傾向分析 】

- ・読解力重視。教科を問わず、高速の情報処理能力が要求されます。
- ・昨年度は、予想以上に平均点がダウンしました。
  - ⇒ 数学ⅠA・日本史B・化学・生物・生物基礎が過去最低を記録しました。
  - ⇒ 特に数学ⅠAは史上初の得点率40%割れを起こし、「数学ショック」という言葉まで登場しました。
- ・実は、センター試験型の出題形式も継続しています。
  - ⇒ 知識・技能は依然として重要です。



7科目型の平均点を算出するようになった2004年のセンター試験以降、最も低い平均点です。

## 【 “対策” が必要 】

- 問題の特徴が多く、私立大とは異なります。
- 共通テストのための学力、というものはありません。しかし、“対策”は異なります。
  - ⇒ 共通テスト用の問題集や模試を活用しましょう。
  - ⇒ ただし、これは基本的な学力が形成されてないと伸び悩むことがあります。早くから意識しすぎないこと。今の時期は基本的な学力醸成に集中しましょう。

## 【 今年度はどうなるの？ 】

- 昨年度、かなり難化した共通テストですが、今年度は反動で易化するのでしょうか？  
実は、かつての共通一次試験・センター試験とも導入3年目は5教科平均点がさらにダウンしています。
  - ⇒ 安易に易化を期待するのは危険です。今年度並みの難易度を想定して臨むのが賢明。しっかりと対策を講じて、悔いのない本番を迎えましょう。

# 模試判定について

大手予備校の模試では、難関大学を中心に約6割がE判定となるようです。現役生が伸びざかりになるのは年明けともいわれます。先輩でも11月下旬の模試でE判定だった人が、本番の共テでB判定となり、国立に合格しています。



# 指定校推薦について

今年も各校から指定校推薦の依頼文が届いています。募集要項の完成は7月になる学校が多いので、詳細が判明するのはこれからです。

推薦条件は、毎年見直されるものなので、変更点には充分注意しましょう。追加や停止も発生します。7月中旬に一覧表を公開し、説明会を開きます。

## 『募集要項』は自分で取り寄せる

大学や短大の『募集要項』は例年7月以降に出そろいます。総合型・公募制推薦での受験を考えている人は、早々に自分で取り寄せることとなります（学校に送付されてきたものがあれば差上げます。資料コーナーを確認しましょう。）。  
ただ、近年は紙ベースでの募集要項を作成していない学校も増えてきました。

三者面談期間、進路室でも相談を受けています。